

令和5年 6月 21日

長野県知事 様

## 令和5年度 長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から 令和6年度		
会社名	セイコーエプソン株式会社 諏訪南事業所		
住所	〒399-0295 長野県諏訪郡富士見町富士見1010番地		
代表者名	総務部長 山田 誠		
業種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地	
担当部署	総務部/諏訪南・施設		
担当者名	綿貫 剛士		
連絡先	TEL	0266-62-6622 (代) 0266-62-8370 (直通)	
	FAX	0266-62-6653	
	電子メールアドレス	<a href="mailto:Watanuki.Tsuyoshi@exc.epson.co.jp">Watanuki.Tsuyoshi@exc.epson.co.jp</a>	
ホームページアドレス	<a href="http://www.epson.jp/SR/environment/">http://www.epson.jp/SR/environment/</a>		

## 1 産業廃棄物3R実践方針

- ・再資源化100%を目標とし産業廃棄物の発生抑制減量化活動を継続展開する。
- ①廃液の事業所内再利用及び薬品使用量削減による廃棄物発生抑制。
- ②再利用、再生など高次元リサイクル業者への売却及び処分委託を継続推進。
- ③有価物化可能な排出物の売却先検討を継続推進し産業廃棄物量を更に削減する。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
総排出量の 推移(t・kg・m <sup>3</sup> )	979.4	932.8	857.8	786.0
リサイクル量の 推移(t・kg・m <sup>3</sup> )	979.4	932.8	857.8	786.0
製品出荷額の 推移(千円)	18,486,300	17,606,000	9,723,000	17,255,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

<p><b>■ 廃棄物の徹底した分別を継続</b></p> <p>① 事業所ホームページへの掲載と各職場での教育の継続</p> <p>② 回収場所の品目別回収容器表示をより判別し易くする</p> <p>③ 排出職場への個別指導の継続</p> <p><b>■ 再資源化100%を目標とし産業廃棄物の発生抑制、減量化活動を継続展開</b></p> <p>① 高次元リサイクル業者への処理委託および新規処理業者開拓の継続</p> <p>② 廃液の事業所内再利用継続 使用済み硫酸の排水中和処理利用継続</p> <p>③ 不用品のリサイクル業者への売却継続</p> <p>④ 排出量抑制 材料や溶剤・薬剤使用量の見直し継続 不用備品等の他職場での転活用継続</p>
--

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
  - ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
  - ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
  - ・従業員教育（研修）計画
  - ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
  - ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・不適正処理を発見した場合の協力体制
  - ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
  - ・独自に取り組む事項
- 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
該当無し	0	0	0	0
全体	0	0	0	0